

(参考様式6)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和2年9月17日

ふりがな	たなかみいちちく
活性化計画名	田上 I 地区活性化計画
ふりがな	しがけん・おおつし
計画主体名	滋賀県・大津市
計画主体コード	250007・252018
計画期間	平成27年～平成31年
事業実施期間	平成27年～平成28年
活性化計画区域	滋賀県大津市田上 I 地区

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	着工目標年 度 A	着工実施年 度 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
定住等の促進に資する基盤整備の 円滑化	平成29年度	平成30年度	% 100	

(コメント)

当該区域内の多くの農地は、小区画で農道に面していないなど作業効率が悪いことから、基盤整備事業により農作業の省力化や効率化を図るものである。目標年度から1年遅れたものの平成30年度から着工し目標を達成した。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	14 農用地等集団化	
事業内容及び事業量	経営体育成促進換地等調整事業 A=120ha	
事業実施主体	大津市	
管理主体	田上土地改良区	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
平成27年度	平成28年度	—
事業の効果	事業の実施により換地業務を円滑に進められたことにより、平成30年度に農業競争力強化農地整備事業に着手することができた。	

(3) 総合評価及び今後の方針

(コメント) 土地改良区が設立された。これにより農作業の省力化や効率化に向けた中心経営体への農地集積・集約を図り、農家の安定的な経営を図る将来計画が具体的となった。 今後は、土地改良区を中心に基盤整備事業を着実に実行して農作業の省力化を図り、一層の農地集積を推進する。
--

(4) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 関津土地改良区 員外幹事	(氏名) 宇野 英義
(コメント) 農地や用排水路、農道等の整備、中心経営体への農地集積・集約を総合的に実施し、非効率ないわゆる田越が多い農地を生産性の高いほ場へ整備することや営農組織の設立により、農業経営を安定させる道筋が見えてきたことは、今後の農家の定住化に寄与するものと思われる。		